

学校の教育目標

たくましく 自ら学び 心豊かな子どもの育成

子どもの願い 保護者の願い 地域の願い 教師の願い

めざす子ども像

- やさしい子ども 【徳】
- かしこい子ども 【知】
- 元気な子ども 【体】

めざす教師像

- 子どものよさを伸ばす教師 【誠意】
- 前向きにチームで高め合う教師 【創意】
- 学び合い、補い合う教師 【協働】

経営の重点

1 「やさしい子ども」を育てるために

◎教師主体の「居場所」づくりと子ども主体の「絆」づくりの取組の充実

- ① 自己存在感や自己有用感を感じ、安心して自分を発揮できる居場所づくり（空間的な居場所と精神的な居場所）
- ② お互いのよさを認め合い、温かい人間関係を育む集団づくり
- ③ 教育活動全体で取り組む道徳教育の充実
- ④ 他者とのかかわりを楽しむ異年齢の交流活動「スマイル活動」の推進
- ⑤ 学校・家庭・地域が連携し、交流する活動の推進（ふるさと教育の充実）
- ⑥ 心をかよわせるあいさつの励行

2 「かしこい子ども」を育てるために

◎主体的に学ぶ力を育む授業づくりの推進～受動から能動へ

- ① 生徒指導の実践上の視点を生かした授業づくり（※）
- ② 子どもの思考の流れに沿った指導と評価の一体化
- ③ 一人一人に応じた学習機会や手立ての保障
- ④ 子ども同士が言葉をつなぎ、考えを深める学び合いの充実
- ⑤ 「自ら考え、ともに学び合う子ども」を育てる授業づくり
- ⑥ 言葉を豊かにし、感性を磨いて、創造力を高める読書活動の充実

3 「元気な子ども」を育てるために

◎健やかな心と体の育成

- ① 基本的な生活習慣の定着（早寝、早起き、朝ご飯）
- ② 自分の命は自分で守る安全教育の推進（ルール遵守と安全意識の高揚）
- ③ 食育の推進
- ④ 保健習慣（うがい、手洗い、歯磨き）の定着
- ⑤ 楽しく体を動かす場の設定（外遊びの奨励）
- ⑥ めあてに向かって粘り強く取り組む態度の育成

※生徒指導の実践上の視点（自己決定、自己存在感、共感的な人間関係、安全・安心な風土の醸成）